

# 株式会社ジェイコムさいたま 北局 南局 2016 年度第 2 回放送番組審議会 議事録

2016年度第2回放送番組審議会は2017年4月20日(木)に開催された。

## <放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

齋藤 陽子 様	高梨 邦彦 様
富田 均 様	平沼 大二郎 様
町田 伸吉 様	

ご欠席 (五十音順)

内木 滋郎 様	清水 志摩子 様
守屋 二郎 様	

事業者側からコミュニティチャンネルの編成方針、番組内容について報告があった。

## 【審議】(平沼会長により進行)

### ■『デイリーニュース』について

(事業者:VTRを交えて番組内容紹介)

・MCの地域アナウンサーは、10月まで加入営業職。今回審議対象となっているのが、5回目のニュース出演であり経験不足であることをお断りしておく。

(委員:高齢者のコミュニティへの参加意欲を促す内容が良い)

・改めて、さいたま市ではいろいろなイベントをやっているのだなと感じた。

・高齢者の方の竹とんぼ活動を取り上げていたが、(ニュースが)高齢者のコミュニティ参加への意欲を促すことになれば良い。

(応答:事業者)

・町の取組みについては、アンテナを張ってきめ細かい対応をしている。

・最近では、さいたま市で「待機児童がゼロに」という話題があったが、そういう市には人が集まってくるので、今後も町を活性化させるような話題をどんどん紹介していきたい。

(委員:ど・ローカルで好感が持てる)

・地域アナは声も聞き取りやすく、地上波のアナと違ってシンプルで好感が持てる。

・オープニングやスタジオの雰囲気も、お金を掛けなくても「ど・ローカル」でやっている感じが出ていて良いと感じる。

・住んでいても知らない情報が多く、安心安全情報なども引き続き扱っていただきたい。

(委員:テロップ文字がくっついて読みづらい)

・テロップ文字が小さいと、くっついて読みづらい。同じゴチック系でも今は読みやすい書体があると思うので研究いただきたい。

・コメントの最後がいつも「～してみたいはいかがでしょうか？」なのが気になる。もっといろんな表現があって良い。

・このニュースを見て出かけることが良くある。J:COMに勝るものは無い。

(委員:人の顔が暗くて気の毒に感じることもある)

・説明を聞いて納得はしたが、地域アナは表情が硬くて余裕が無い。地域の番組の顔なので、今後親しみやすさが出てくれれば良いと思う。

・番組全体の構成は流れる的には良い。

・サイドテロップや内容を補足するテロップだが、情報量が多すぎて文字を読み出すと、肝心のナレーションを聞けなくなってしまうので、もっとシンプルに表現できないか？

・人の顔が暗くなって気の毒に感じることもある。

・防犯や救急、消防の出動情報は良いと思う。

・毎日のニュース以外に曜日ごとのコーナーは無いのか？

(応答:事業者)

・今日のことを今日出すので、コーナー的なものは設けていない。

(委員:一つのコンテンツが長く感じる)

・毎日再放送の時間帯に拝見している。一つのコンテンツが長いと感があるが、皆さんは如何か？

一本を短くして、コンテンツを増やしたほうが良いと思う。

(応答:委員)

・少年サッカーチームの市長表敬訪問は少し長いと感じた。

(応答:事業者)

・フォントについては、見やすい文字を工夫、検討したい。

・地域アナについては、地域の皆さんに愛されるアナウンサーに育てたい。

・テロップについてはナレーションと違うことを書いていることもあるので、メンバーとも検討し、より分かりやすくしたい。

・人の顔が暗くなるのは、カメラマンの技術の問題なので改善する。

(委員:テロップフォローはやはり必要)

・文字の問題だが、高齢者で耳が遠い方も多いので、大事なところはある程度分かりやすくテロップでフォローしていただきたい。

(応答:事業者)

・デイリーニュースに関してはやはりコンテンツだと思うので、委員の皆さんからもどんどん情報を頂き1つでも多く発信していきたいと思う。

(応答:事業者)

・地域のイベントにカメラを持って出て行くことで、コミチャンを見てもらうきっかけになる。  
・インタビューをテロップでフォローすることは、取り入れていきたい。

(委員:新聞に番組表を載せることは難しい)

・いつも話題に出るが、新聞のラテ欄にJ:COMコミチャンの番組表を載せることは難しいようである。

(委員:特番や新番組などはFAXかメールで教えて欲しい)

・特番や新番組については、FAXやメールで教えるサービスができないか?

(委員:ネットの電子番組表に掲載できないか?)

・電子番組表(EPG)があるのだから、それをネットで見られるようにできないのか?  
ポータルサイトのテレビ番組表等に掲載できればスマホでも見ることができ便利。

## ■『特番・トリエンナーレがやってきた』について

(事業者:VTRを交えて番組内容紹介)

・春からこのイベントのお話をいただいて、期間中もデイリーニュース等で発信してきた。  
・2ヶ月半にわたって48のプロジェクトが展開された中で、21のプロジェクトを取材した。  
・一つのプロジェクトを掘り下げて・・・という意見もあったが、毎年行なわれるイベントではないので、今回はたくさんのプロジェクトを紹介する構成とした。

(委員:飽きずに見ることができた)

・いろいろな作品があって飽きずに見られた。良くできていると感じた。  
・「トリエンナーレ」という言葉自体が耳慣れないので、説明が欲しかった。

(委員:1つのプロジェクトを会期前から追いかけて欲しかった)

・いくつかのイベントを実際に見に行ったが、現代アートの面白さをきちっと捉えて構成しているなど感じた。

・ガイド的な作りもいいが、1つでいいから79日間(もしくは会期前から)市民を巻き込んで作っていく過程を「深掘」して見せて欲しかった。

(委員:ナレーションにわくわく感が無い)

・ナレーションがたんたんとしすぎていて「わくわく感」が無い。

(応答:事業者)

・このナレーションも新人の地域アナウンサーが担当したので技術不足は否めない。

(委員:一般の方々に知ってもらうには良い番組だった)

・「トリエンナーレ」があるということは聞いていても、興味が無かったり何をやっているのかわからない人が大半だったと思うので、この番組で知ってもらえたことは良かった。

・一つ一つのプロジェクトは面白かったが、「未来の発見！」という芸術祭のテーマとどうつながっているのかが不明であった。

(委員:作家のプロフィール紹介があれば良かった)

・作者がどういう活動をしてきた人なのか？プロフィール紹介があれば良かった。

(応答:事業者)

・このトリエンナーレそのものが議会で紛糾したり、否定的な見方をする人も多かったが、現場で取材をしてみると皆さん笑顔で楽しんでいたので、それを先ず伝えたいと思った。

・番組の後半では、このトリエンナーレの文化的意義が市民にしっかり届いているのかどうか？を伝えるために、一般市民の参加者の声も入れる工夫をした。

・イベントの会期前からの取材や作家プロフィールについて、工夫が足りなかった点へのご意見は今後の番組制作の参考としたい。

(委員:イベントの周知もメディアの役割)

・この番組を見て「面白そうだな、もっと見ておけば良かったな」と思うので、イベントの会期中に周知するのもJ:COMの役割だと思う。

・事後の番組としては、このイベントがもたらした「効果」についても盛り込めば良かった。

(応答:事業者)

・制作スタッフは、できるだけ多く且つ深く追求したいと言うジレンマといつも戦っている。

・作家のプロフィール紹介については入れた方が良かった。

## 5. 閉会(平沼会長)

皆様から頂戴した貴重なご意見を参考に、より良い番組制作をお願いしたい。

以上